



レファレンス通信

No. 28

2016.6

石川県立図書館
利用サービスグループ
〒920-0964
金沢市本多町 3-2-15

加賀の菊酒

県外からのお客様に石川県のお酒を振舞う機会が増えていませんか？
今回は、銘酒で名高いとされる「菊酒」について調べてみましょう。



『加賀国菊酒考』手取川水汲みの図

(県立図書館ホームページ貴重資料ギャラリーより)

菊酒について書かれた代表的な資料として、文政6年(1823)に、加賀藩の郷土史家である富田景周がまとめた『加賀国菊酒考』があります。これは、中国や日本の故事・古典により、古来の酒や菊花の効用、菊水伝説等を多数紹介し、「菊酒」の名称が白山の祭神「菊理媛命」の名に因むことを考証しています。本書では、菊酒の原産地として、手取川源流の白山と、犀川源流域の2箇所を挙げていますが、現在では、白山麓鶴来(現白山市内)をルーツとすることが共通認識となっています。

中世加賀における菊酒については、京都や畿内の文献史料や文芸作品の中にも多く見えます。

狂言「餅酒」は、加賀と越前の百姓が京都の荘園領主にそれぞれ菊酒と餅を貢納し、それにちなんだ和歌を詠むことを命ぜられる話です。「餅酒」の諸本の中では「実相坊の菊酒」とあるものもあり、実相坊が実在の白山の坊舎であることなどから、白山寺(白山本宮)の僧坊酒だったのではないかと、とも推定されています。

レファレンス事例より

Q. 中世の古典でとりあげられている加賀菊酒の記述が見たい。

A. 以下のような当館所蔵資料があります。

1. 江西龍派著「杜詩続翠抄」<五山文学>:『加能史料 室町IV』(加能史料編纂委員会編、石川県、2007年、K209/31/5-4)p.432~433
2. 「安宅」<猿楽能>:『日本古典文学大系 41 謡曲集 下』(岩波書店、1977年、918/4/41)p.181
3. 「餅酒」<狂言>:『新日本古典文学大系 58 狂言記』(岩波書店、1996年、918/17/1-58)p.537~540
4. 肖柏著「三愛記」<連歌師の随筆>:『群書類従 第27輯』(塙保己一編纂、続群書類従完成会、1980年、081.5/3/27)p.394~395
5. 「田植草紙」<安芸国の田植歌>:『日本古典文学大系 44 中世近世歌謡集』(岩波書店、1978年、918/4/44)p.268~270
6. 「桂川地蔵記」<往来物>:『続群書類従 第33輯上』(塙保己一編纂、続群書類従完成会、1931年、081.5/1/33-1)p.106~107
7. 山科言継著「言継卿記」<戦国期の公家の日記>:『言継卿記 第一 新訂増補』(高橋隆三・斎木一馬・小坂浅吉校訂、続群書類従完成会、1966年、210.46/10042/1)p.30
8. 「太閤記 卷十六」:『新日本古典文学大系 60』(岩波書店、1996年、918/17/1-60)p.481

参考文献:室山孝「中世加賀菊酒の社会史」(『北陸史学』63号 2015)(解説・レファレンス回答とも)

「加賀の菊酒」文献リスト

※配列は発行年月の新しいものの順です。

- ・『中世加賀菊酒の社会史』室山孝著、北陸史学会、2015年4月、K588/1021
- ・『新・雪国の酒蔵』梧桐書院、2014年11月、588.5/10219、p.162～164
- ・『金沢と加賀藩町場の生活文化』池田仁子著、岩田書院、2012年8月、K209.5/1043、p.315～321
- ・『いしかわの酒蔵』石川県酒造組合連合会、2010年6月、K588/1017
- ・『「まつり」の食文化』神崎宣武著、角川書店、2005年9月、386.1/10081、p.167～181
- ・『加賀の菊酒 論文と資料の紹介』石野春夫著、白山書店、2000年7月、K588/1005
- ・『鶴来町史 歴史編 近世・近代』鶴来町史編纂室編、鶴来町、1997年3月、K223/61/1-2、p.520～531
- ・『鶴来商工会 100年史』創立百周年記念誌刊行委員会編、鶴来商工会、1994年11月、K671/52、p.165
- ・『加賀菊酒菊姫之記』菊姫、1992年8月、K588/28
- ・『日本の酒 5000年』加藤百一著、技報堂出版、1987年2月、588.5/110、p.159～160
- ・『酒造りの歴史』柚木学著、雄山閣、1987年、588.5/111、p.24～25
- ・『加越能古俳書「鶴来酒」について 書名「鶴来酒」・「鶴来酒」下巻管見』山根公著、都留文科大学、1986年3月、K913/334
- ・『地酒天国いしかわ県』能登印刷出版部、1985年12月、K588/17、p.120～121
- ・『日本地酒紀行』奈良本辰也著、淡交社、1985年3月、588.5/107、p.64～70
- ・『全国清酒地酒大名鑑』技興社、1982年10月、588.5/90、p.300
- ・『日本産業発達史の研究』小野晃嗣著、法政大学出版局、1981年5月、502.1/59、p.126～128
- ・『加賀の菊酒 手取川流域の酒造業』松下章、1977年、K588/12
- ・『金沢古蹟志 下巻』森田平次著、日置謙校、歴史図書社、1976年、K222/64/3、p.11～13
- ・『本朝食鑑 1』人見必大著、島田勇雄訳注、平凡社、1976年11月、499.9/10/1、p.129～130
- ・『古い鶴来と米屋の歴史』長基建治、1972年、K288.2/29、p.4～9
- ・『加賀国菊酒考解説』山森青硯、石井久二郎共編、山森青硯、1968年8月、K588/7
- ・『北陸の家』田中喜男、野脇格共編、石川県図書館協会、1967年7月、K520/22、p.136～137
- ・『百万石遠鏡』石川県図書館協会、(1963年初版)1993年3月、K080/11/7、p.11～15
- ・『楽晩荘随筆 加能外史』日置謙編著、松本三都正編、北国新聞社、1952年6月、K204/7、p.107～110
- ・『鶴来名産酒と煙草の出陳目録』武閑雲編、鶴来町公民館、1950年、K068/21
- ・『金石町誌』中崎善治郎編、文献出版、(初版1941年)1980年、K222/55、p.227
- ・『景周先生小著集(加賀能登郷土図書叢刊)』富田景周著、太田敬太郎校訂、石川県図書館協会、(1938年初版)1972年6月、K080/10/35、p.325～334、477～478
- ・『日本酒』金沢市酒造組合、1936年4月、K588/2、p.22～25
- ・『鶴来郷土史』石川県鶴来尋常高等小学校、1935年、K223/16、p.63～64
- ・『鶴来案内』鶴来町、1931年8月、K292.3/6、p.2～3

調べものは調査相談カウンターまで

電話：076-223-9575 F A X：076-222-2531 メール：chosa@pref.ishikawa.lg.jp